

桐原の... 桐原

養徳 甲子年

二月廿三日

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

卷之二 卷之二

義陽公

四十五



し度は得たはたき甚き者様細  
心な目もあはれと人なふも  
津より物ゆきと細き者も  
合さしとみれば、代々守り  
て、世に北は、何れも家の  
有りて人一人、何れも  
勿論、世に、何れも、一  
族、何れも、一、人  
何れも、一、人、何れも、一、人  
何れも、一、人、何れも、一、人  
何れも、一、人、何れも、一、人

三ノリ  
桐真観

桐原三ノリ